

令和3年度入学式 校長式辞

やわらかな春風に心華やぐこのよき日に令和3年度第48回入学式を挙行できますことは、私たち教職員にとりまして、この上ない喜びでございます。

我々は今、新型コロナウイルス感染症という人類が経験したことのない危機に直面しています。人の「集合」と「移動」を制限しなければ、感染拡大を回避することはできません。本日も保護者の皆様には、別会場にて式典の様子を御覧いただいております。感染対策のために、このような形になってしまいましたが、どうか御理解をいただきたいと存じます。

さて、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。保護者のみなさまにとりましても、待ちわびた春であったことと存じます。心からお喜びを申し上げます。

本校は昭和41年に開校し、創立48年目を迎える普通科と外国語科を設置する学校です。施設設備やICT環境が充実しており、クロームブックを使用したBYODによる先進的な学びや、外国語科がリードする国際理解教育など、特色ある教育活動を展開しております。また、進路についても県内有数の進学校として高い実績を挙げています。部活動では、県外にも強豪校として名をはせる部活動が数多くあります。本校の校訓は「知・徳・体 文武両道」です。新入生の皆さんは、新たな学友と共に、文武両道で人間性を磨き、進路実現に向けて努力してください。私たちは皆さんの夢を全力で支援していきます。

今日、society5.0と言われる超スマート社会に突入したといわれます。急激な科学技術の進展と、グローバル化、情報化による社会構造の変化により、子どもたちの65%は、今は存在していない職業に就くだろうと言われていています。また、今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化され、2045年ごろには人工知能が人類を越える「シンギュラリティ」に到達するとの指摘もあります。世の中が急激に変化し、未来を予測することは困難です。このような時代を生きる子供たちに必要となってくる資質・能力を高校教育の中でしっかり育てていかなければなりません。

そこで、私が皆さんに望みたいことの一つは、真の学習者になってほしいということです。

学びの主役は生徒自身です。新たな時代の学びでは、単に知識を吸収するだけでなく、学習した知識を基礎にして、情報を主体的に選択し、自ら問いを立て、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくクリエイティブな力が求められています。そのためには、授業や探究活動など学校生活全般において思考力を伸ばし、身に着けた知識や経験をもとにインプットからアウトプットすることを意識して学習してもらいたいのです。

更に学習者として大事なものは、自学力です。人に言われて動くのではなく、自分の意志で走る、つまり自走できる学習者でなければ、この先の厳しい大学受験に挑むことはできません。授業外の時間における自主学習の習慣をきちんと身に着けてください。そして常に今の自分よりも一つ先の高い目標を持って、3年間、主体的に学んでください。

また、もう一つ望みたいことはグローバルな視点をもってもらいたいということです。今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。世界は、スポーツの祭典に関心を寄せるだけでなく、日本の教育が世界水準へと変貌を遂げようとしていることにも注目しています。グローバル化が進展する世界では、海外の人々を相手に堂々と議論ができる日本人を育てていかなければなりません。日本の教育改革も、コミュニケーションスキルとしての英語力や異文化理解に重点が置かれています。本校は外国語科を有するという強みがあります。普通科も併せて国際理解教育を積極的に推進してまいります。

保護者の皆様に申し上げます。高校生は、少年期から青年期へ脱皮する時であり、心身の変化が極めて著しい年代でもあります。不安を抱えることも多いことでしょう。どうか、お子様を温かく、時に厳しく見守っていただきたいと存じます。お子様の成長のためには、学校と家庭とがそれぞれの役割をしっかりと果たし、強く連携していくことが必要です。教育と子育てを通して保護者の皆様と教職員とが互いに学び合う関係を築いていきたいと考えています。また、私ども教職員は、生徒の自己実現と、よりよい人格形成を目指して全力を尽くす所存です。どうぞよろしく願いいたします。

結びになりますが、新入生359名の大いなる活躍を祈りつつ、式辞といたします。